

### Ⅲ-1-④温室効果ガスの排出量の推移(1990年～2030年)

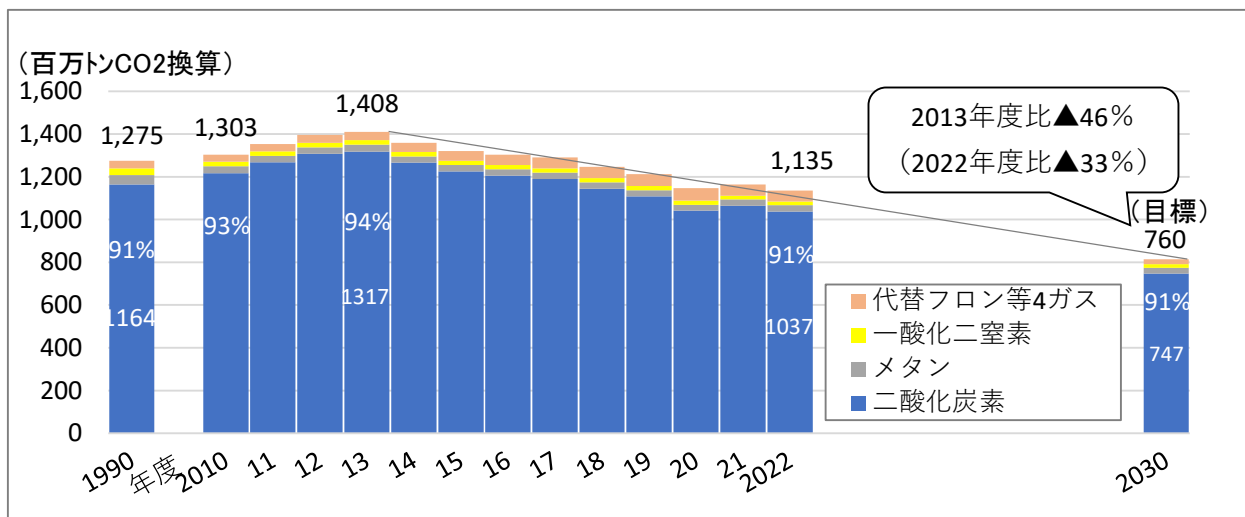
日本の温室効果ガスの推移は下記のとおりです。

2010年以降は、原子力発電所の停止で、一時、CO<sub>2</sub>が増加し、2013年にピークとなりました。その後、原子力発電所再稼働もあり、2020年度まで7年連続で減少しました。

なお、2021年度はコロナ後の経済活動回復によって、一旦、上に抜けてきましたが、2022年度は再度下降トレンドとなっています。

#### 【2022のCO<sub>2</sub>の内訳】

2021のCO <sub>2</sub> =エネルギー起源+非エネルギー起源			
1037	=	964	+ 72.6



出典:環境省資料  
(2022年度温室効果ガス排出量)

### 温室効果ガス排出量の推移

#### 【国際的な目標としては】

**日本の温室効果  
ガスの削減目標**  
2030年までに、  
2013年比▲46%

出典:資源エネルギー庁

### 温室効果ガス削減目標